

# り災状況申告書

○年○月○日

大阪南消防組合  
柏羽藤 消防署長 様

法人の場合は代表者の住所・(役職)氏名をご記入下さい。(住所・電話番号は、自宅又は本社をご記入下さい)

担当の署を記入して下さい。  
柏原市、羽曳野市、藤井寺市は「柏羽藤」と記入  
富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村は「富田林」と記入  
河内長野市は「河内長野」と記入

申告者 住所 ○○市○○町○丁目○番○号  
氏名 ○○ ○○  
電話番号 ○○○ - ○○○○ - ○○○○

り災年月日 令和 ○年○月○日

り災建物(物件) ○○マンション・○○株式会社  
(個人宅で上記申告者と同じ場合は「同上」と記入して下さい)

所在地、名称 り災した場所の所在地・住所(上記申告者と同じ場合は「同上」と記入して下さい)

## り災世帯員

氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢
○○ ○○	本人	○○			
○○ ○○	妻	○○			
○○ ○○	子	○○			
○○ ○○	子	○○			

住居として使用している場合は同居者全てをご記入下さい。事務所・倉庫・工場等企業で使用している場合は記入の必要なし。

## 火災保険契約状況

保険会社名	契約年月	保険金額	
		不動産	動産
○○保険	○○年 ○月	○○○○万円	○○○万円
	年 月	円	万円
	年 月		万円

保険金額がわからない場合はおおよそで結構です。

## 注意事項

- この申告書は、消防法第34条に基づき提出を求めるものです。
- この申告書は、特別な場合を除いて、受取ってから7日以内に提出してください。提出されないときは「り災証明書」の発行が遅れる場合があります。

建物が焼損した場合は「建物」に○印をして下さい。

建物、構築物、車両、船舶、航空機のり災状況表						
建	木(防火)造 瓦 葺 サイディングボード 張 2階建 地下 階					
	建築面積	50㎡	延面積	90㎡	用途	住宅
	占有延面積		㎡	占有部の用途		
	建築年月	平成6年4月	建築金額	3500万円		
	購入年月	平成6年4月	購入金額	3500万円		
物	増改築等年月	概要		箇所面積等	金額	
	年 月				円	
	年				円	
構築物	物件名	経	中古物件で、建築金額・建築年月日が不明の場合は空白で結構です。購入金額は実際に購入した金額を記入して下さい。			金額
						円
車両	運転者名		車種、用途			
	車名、					cc
船舶・航空機	購入					円
	船(機)種	登記謄本等を参考に記入して下さい。				
	船(機)種					トン 名
	建(製)造年月	年 月	購入金額	円		
	購入年数	年 月	船(機)籍			
その他	物件名	数量、面積等	金額	物件との関係		
			円			
			円			

記入要領

- 建物「用途」住宅、店舗、住宅兼店舗、工場等、り災前に使用していた用途を記入してください。
- 「占有延べ面積」建物の所有者ではなく、占有者で占有部分に対して改装等を施し、その部分に損害を被った場合に記入してください。
- 「建築金額」「購入金額」判明している場合のみ記入してください。
- 「増改築等」改築、増築、改修、改装等を施している場合に記入してください。
- 構築物「物件名」塀、看板、配電用木柱等の別とその構造等を具体的に記入してください。
- 車両「車種、用途」自動車車両は、貨物車、乗用車等の別を、鉄道車両は、普通鉄道、地下鉄等の別を記入してください。
- 船舶、航空機「船(機)種、用途」船舶は、旅客船、遊らん機等の別を記入してください。
- その他「物件名」屋外の物件等を記入してください。
- 「物件との関係」所有者、管理者の別を記入してください。

記入例

動 産 り 災 状 況 表									
品 名	焼けしたもの、熱で変形した もの、煙で汚れたもの			消火により、ぬれたもの、 破損したものなど			爆発現象の破壊作用によ り破損したものなど		
	数量	購入金額 円	使用 年数	数量	購入金額 円	使用 年数	数量	購入金額 円	使用 年数
家 具 類	1	事務用机、 椅子(金属製)							
	2	〃 (その他)							
	3	児童用机、椅子							
	4	応接セット							
	5	ベッド	1	200,000	5				
	6	タンス類	2	300,000	5				
	7	食卓、下駄箱等家具							
寝 具 敷 物 類	8	ふとん、マットレス、 座ぶとん	1式	40,000	5				
	9	毛布	2	14,000	5				
	10	じゅうたん等敷物	1	10,000	2				
和 洋 服 類	11	背広、スーツ、 ワンピース							
	12	替上着	10		5				
	13	替ズボン、スカート	20		5				
	14	オーバー、コート	2	100,000	5				
	15	ジャンパー、ネクタイ、 カッター等	2		5				
	16	着物、羽織							
ス ・ 油 機 器 類	22	クーラー、エアコン	1	150,000	7				
	23	冷蔵庫							
	24	洗たく機							
	25	電子レンジ							

当てはまる項目欄にご  
記入下さい。

例  
2  
枚  
分  
の  
合  
算

複数ある場合、おおよその個数、使用年  
数を記入。金額は全個数の合算で記入。

この書類は、火災による損害額を算定するためのものであり、  
火災保険会社が算定する方法と違うため、算定額が異なります  
のでご理解下さい。よって、この書類をコピーして保険会社に提  
出しても構いませんが、効力はありません。



動 産 り 災 状 況 表										
品 名		焼けたもの、熱で変形した もの、煙で汚れたもの			消火により、ぬれたもの、 破損したものなど			爆発現象の破壊作用により破損 したものなど		
		数量	購入金額 円	使用 年数	数量	購入金額 円	使用 年数	数量	購入金額 円	使用年数
そ の 他	51									
	52									
	53	この用紙内に記入がない場合でも、 一緒に提出して下さい。								
	54									
	55									
	56									
	57									
	58									
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										

記入方法

- 1 「購入金額」購入したときの金額を記入してください。数量が複数の場合は合計してください。ただし「商品」の場合は、り災直前の販売価格を、「原料、材料」の場合は仕入価格を、「製品、半製品」の場合は原価を、「書画、骨とう、美術工芸、宝石類」の場合は社会通念上評価されている価格をそれぞれ記入してください。
- 2 「使用年数」購入してから、り災時までの年数を記入してください。数量が複数の場合は、平均した年数を記入してください。ただし、「商品、原料、材料、製品、半製品、書画、骨とう、美術工芸品、宝石類」の場合は必要ありません。